

長崎県内の令和7年中における交通事故の発生状況と特徴点

長崎県内における令和7年中の交通事故発生状況が報道発表され、発生状況は次表のとおり

すべてが前年（令和6年）を上回る
という結果となりました。

	令和7年中	前年（令和6年）比
発生件数	2, 4 5 1件	+ 3 5 件
死者数	2 9人	+ 3 人
負傷者数	3, 0 4 4人	+ 6 1 人

※発生件数と負傷者数は暫定値

死亡事故の特徴

- 1 高齢者（65歳以上。以下同じ。）が21人で全体の7割強を占める。
- 2 高齢者が車を運転して加害者となった事故の死者数は16人で前年よりも3人増加した。
- 3 飲酒運転による死者数は前年と同じ1人であった。

交通事故の特徴

- 1 歩行者が絡んだ事故は371件で前年よりも14件減少した。
- 2 歩行者が絡んだ事故のうち、信号機のない横断歩道での事故が83件で前年よりも29件増加した。

全国の令和7年中における交通事故の発生状況

全国における令和7年中の交通事故発生状況も発表され、発生状況は次表のとおり、すべてが前年より減少し、特に死者数に関しましては

統計が残る1948年以降で最も少ない数
となりました。

	令和7年中	前年（令和6年）比
発生件数	2 8 7, 2 3 6件	- 3, 6 5 9件
死者数	2, 5 4 7人	- 1 1 6人
負傷者数	3 3 8, 2 9 4人	- 6, 1 0 1人

※本記事に掲載している数値は、政府統計・各種報道発表に基づいて作成しています。